

令和 2 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	18	学校名	県立水戸第二高等学校				課程	全日制				学校長名	石井 純一					
副校長名	沼田 理津子				教頭名	鈴木 教生				事務室長名	和田 肇							
教職員数	教諭	53	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	4	実習教諭	1	事務職員	4	技術職員等	4	ALT	1	計	74
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数						
	普通科	0	320	0	320	0	311	0	0	0	951	24						

2 目指す学校像

民主的な国家及び社会の形成者としてふさわしい資質・能力を身に付け、国際的な視野をもった社会に有為な人財の育成を図る学校。

- 叡智・・・優れた知恵を獲得し、物事の真実や真理を探究する
- 仁愛・・・情け深い心で様々な人たちと互いに尊重し合って交流する
- 創造・・・豊かな発想をもちこれまでにない新たなものをつくる

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での学習時間が十分に確保できていない生徒もいる。 ○受動的な学習姿勢の生徒が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の量と質（生徒自らが選択する）の精選が必要である。 ○主体的に、継続的・計画的な自主的で、継続的な学習活動を計画的に実践できる力を身に付けさせる必要がある。 ○理科的素養と文化的素養の両者を併せ持ち、自ら正しい判断ができる力を身に付けさせる必要がある。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度卒業生の国公立大学合格者は103名であった。 ○多くの生徒が高い志をもって進学を希望している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大学で何を学ぶのか、それをどのように活用して自分の未来を切り拓いていくかを養う取り組みが必要である。 ○受験環境の変化を的確に捉え、教育課程と授業改善を一体的に推し進める必要がある。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度のスマホ家庭のルールづくり運動において、犯罪に巻き込まれる危険もあるネット上のみのつきあいの人と情報のやりとりをしたことがある生徒の割合が22%であった。保護者からも心配の意見が多く寄せられている。 ○クラスに馴染めず不登校生徒が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマホは非常に便利であるが、犯罪に巻き込まれる機会も増している。自らの命、他者の命を互いに尊重し合える力を養い安全にスマホを活用する必要がある。 ○多様性を認め合いお互いを尊敬できる人間関係を構築する必要がある。
特別活動等	<ul style="list-style-type: none"> ○70%を超える生徒が部活動に参加している。令和元年度は3つの運動部が全国大会に出場し、3つの文化部が全国大会に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の質的充実（科学的トレーニングの導入等）を図る必要がある。 ○学習時間と部活動の両立を目指しつつ、部活動等で抜けた学習についてその学習を保證する仕組みを考え、キャリア・パスポートを活用し各活動の中で培われる力を関連付ける必要がある。
教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な生徒への対応により、教職員の長時間勤務が続いている。 ○業務内容が多岐にわたり、担当者への負担が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○業務の明確化・適正化をはかり、削減する業務を検討する機会を設ける必要がある。 ○ICTの導入・更新により、業務の効率化をはかり、研修時間の確保に努める必要がある。 ○情報の共有、関係機関との連携等により校内支援体制を整える必要がある。

別紙様式 1 (高)

4 中期的目標

- ・学校が生徒にとって、様々な力を身に付ける場所となるように、学校全体で、「主体的で、対話的で、深い学び」への授業改善に取り組む。
- ・教職員と生徒が学び合うことが当たり前となるように、オンライン研修等の機会を設け、効果的な取組を実施する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 探究力と学びに向かう力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ① 教科横断的・課題解決型授業の研究と実施 ② 自主的・能動的な学習習慣の確立 ③ 「思考力・判断力・表現力」を育成する言語活動の充実 ④ SSH指定の効果的な活用と探究活動の充実 ⑤ 学校図書館活用の促進
2 生き方を主体的に選択できる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ① キャリア形成を視野に入れた適切な進路指導 ② 国際理解教育の推進による多様な文化を受容できる力の育成 ③ 生徒会やHR等自治活動の充実による自律の精神と奉仕する心の育成 ④ 部活動への積極的な参加
3 安心・安全を守る	<ul style="list-style-type: none"> ① 自律的で責任ある生活習慣の確立 ② 一人一人に寄り添った生徒支援といじめの未然防止 ③ 教育相談機能の充実と生徒自身の自己解決能力の育成 ④ 校内点検の充実による危険箇所の早期発見及び学校安全計画や危機管理マニュアルの見直しによる学校安全の推進
4 開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の小中学校等と連携した教育活動の展開 ② ボランティア活動や部活動を通じた地域行事への積極的な参加 ③ 学校 Web ページの充実 ④ 保護者や学校評議員等との緊密・親密な連携
5 教育活動の充実 ※働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 勤務時間の管理と適正な勤務時間の設定及び勤務時間削減に向けた取組 ② 業務の役割分担と適正化にむけたPDCAサイクルの構築 ③ ICT機器を活用した業務の効率化及び情報の共有化による研修機会の確保